

- ・常に人命の尊重と人間愛に基づいた医療・介護につとめます。
- ・全ての人に平等に心身両面にわたる医療・介護につとめます。
- ・地域の人達から信頼されるよう研鑽と協調をすすめます。

ふくの若葉病院通所リハビリテーションの紹介

通所リハビリテーションとは？

自宅で療養されている方が健康の維持・回復のために通いながらリハビリテーション・レクリエーションなどを行うサービスです。介護保険制度による要介護認定により要支援1・2、要介護1～5と判定された方がご利用いただけます。

ご利用方法

利用相談

利用をご希望される方の身体状態等を担当のケアマネージャーやご家族の方からお伺いします。また、利用空き情報をお伝えし、利用希望曜日及び利用回数を伺います。

利用申し込み

利用に向けての日程調整後、当院のサービス利用前に、利用をご希望される方とご家族と一緒にお願いいただき、医師の診察と通所リハビリテーションのご案内(事業・契約書類の説明、見学等)をさせていただきます。

事前訪問

利用開始前に、通所リハビリテーションの職員が、送迎の方法等を確認させて頂くためにお宅に伺います。

日程調整

担当のケアマネージャーやご家族を通じて、利用開始日を決定します。

初回利用

ようこそ！！お待ちしております。



通所リハビリテーションは、私たち、看護師1名、介護職6名、理学療法士1名、リハビリ助手1名で『利用者さんの心身機能の維持、回復を図る』ため、職員一同で支援させていただきます。

当院の通所リハビリテーションをご利用されるには、介護サービス計画の作成を依頼する必要があります。(自己負担はありません。)

まず、お近くの居宅介護支援事業者(要介護1～5の方)または地域包括支援センター(要支援1・2の方)に、当サービスのご利用希望をお申し出下さい。

当院においても併設の居宅介護支援事業所がありますのでご利用ください。



通所リハビリの1日

利用者さんの心身の機能維持、回復を図るため、今年度から、口腔ケアの充実と、認知症の予防に取り組んでいます。また、理学療法士による個別リハビリでは、個々の利用者さんの状態に合わせてリハビリ実施計画書を作成し、計画的な身体機能の維持や回復を目指しています。

その他、レクリエーション運動、頭の体操、作品作り、季節感を感じていただくための野外活動、菜園活動など、利用者の皆さん一人一人が健康で楽しく過ごしていただけるよう、スタッフ一同努力しています。



8:30

- ・お迎え
- ・到着後、手指のアルコール消毒
- ・健康チェック(体温、脈拍、血圧)

9:30

- ・入浴、リハビリ

11:30

- ・嚥下体操、リハビリ体操

11:45

- ・昼食
- ・口腔ケア
- ・休養

13:00

- ・入浴、リハビリ

14:00

- ・集団レクリエーション
- 頭の体操、レクリエーション運動

15:00

- ・オヤツ
- ・椅子体操、バランス体操

15:30

- ・お送り

ボランティア

地域で活動されている個人や団体の方々に、演奏、歌や踊りなどをボランティアで披露していただいています。毎月1～2回、1階エントランスホールにおいては、ピアノ教室を主宰されている大江先生がピアノ演奏会を開いてくださっています。

また、地元企業に勤務されている塩谷さんは、土曜日の午前中、通所リハビリテーションの利用者さんの話し相手や創作活動などのお手伝いをしてくださっています。



彼は利用者さんに人気があり、笑顔がとても爽やかです。ボランティアのきっかけは、当院のホームページでボランティア募集案内を見て、普段あまり接することのない高齢者の方とふれ合いたいと思ったことだそうです。

七夕まつり

7月11日(水)2階と3階食堂ホールで七夕の会を開催しました。

当日は、ともしび会ひまわりグループの皆さんと、すずめグループの皆さんが来てくださいました。



ひまわりグループの皆さんによる紙芝居は、入院患者さんや通所リハビリテーションの利用者さんが分かりやすい様に、半畳サイズの用紙に絵が描かれ、『かくやひめ』と『しんらんさま』を披露してくださいました。

すずめグループの皆さんは、『済州島雨情』と『コロソタエ』の曲で優雅な踊り、『風林火山残照』の曲で凛々しい踊り、『花火音頭』の楽しい踊り、『武田節』の力強い歌を披露してくださいました。

第3回ふくの若葉病院ミニコンサート

8月2日(木)1階エントランスホールにてミニコンサートを開催しました。

今回は、フルート奏者の角家道子さんとハープ奏者の上田智子さんによるすばらしい演奏会でした。

プログラムはビゼーの「アルルの女よりメヌエット」、イベールの「間奏曲」などのクラシック曲だけでなく、日本人にとって懐かしい夏の歌「夏の思い出」や「椰子の実」など、誰もが一度は耳にしたことのある曲も交えた親しみやすい内容でした。



- 演奏家プロフィール(一部紹介)
- 角家道子さん**
- 桐朋学園大学卒業、研究科修了
 - オーストリアにてミュンヘン・フィルハーモニー首席奏者ミハエル・コフラー氏のもとディプロマを取得
 - 日本音楽コンクール、日本現代音楽コンクールに入賞
 - ニューヨーク大学大学院、ジュリアード音楽院で研究に従事
 - 神戸市東灘文化協会会員、「カロロザ」のメンバー
- 上田智子さん**
- 東京音楽大学器楽科ハープ専攻、同研究科修了
 - 第6回ヨーロッパ国際音楽コンクールハープ上級部門で、審査員全員一致により第1位受賞
 - パリ・エコール・ノルマン音楽院を首席卒業、同音楽院の演奏家資格をブルミエ・プリ(1等賞)にて取得
 - 石川県初のハープアンサンブルエトワールを結成し代表を務める。ハープピアノ教室(金沢・津幡)主宰

COML医療フォーラム2007と患者塾

5月20日(日)『どうなる?これからの高齢者医療』と題し、COML医療フォーラム2007が開催されました。当日は、当院の角家院長がパネリストとして参加し、『療養病床の抱える問題』について講演しました。参加者の高齢者医療に対する関心が高いこともあり、療養病院への質問がありました。



6月2日(土)『みんなで学ぼう高齢者医療』と題し、第146回患者塾が開催され、当院の古府事務長が、「高齢者医療の入院」について話題を提供しました。患者塾は「賢い患者になりましょう」を合言葉に、テーマを定め、実践者や体験者が話題を提供した後、グループ討議を行い、参加者同士、互いの知識や意見を出し合い、相手の考えに耳を傾ける場です。

高齢者医療をテーマに、フォーラムや患者塾が開催されることで、2008年4月から開始される後期高齢者医療制度、政府や厚生労働省による、介護療養病床の廃止、医療療養病床の削減など、高齢者医療の現状や今後について考えることのできる場となりました。

COMLとは? NPO法人ささえあい医療人権センターのことです。「医療と法の消費者組織」として「賢い患者になりましょう」を合言葉に、患者の主体的な医療への参加、患者と医療者の関係づくり、患者中心の開かれた医療の実現を目指し、活動に取り組んでいってまいります。

14歳の挑戦!!

福野中学校の2年生3名が、7月9日(月)から、5日間、当院にて「14歳の挑戦」に取り組みました。看護や介護の仕事について説明を受け、入院患者さんや通所リハビリテーションの利用者さんの移動、食事の手助けなどをし、レクリエーションに参加しました。



生徒さんたちからは、「患者さんや利用者さんから、ささいな事で『ありがとう』と言ってもらえ、役立っていることがとても嬉しかった」、「元気で健康に生きていることへのありがたさを再確認できた」などの感想がありました。

編集後記

とても暑い日が続きますが、夏バテしていませんか?暑い日には、やっぱりビールが一番ですねえ~!

当院の広報誌は創刊してから第5号を迎えました。毎回、皆さんに楽しんでいただけるよう心掛けています。こんな特集を組んでほしいなどのご意見やご要望がありましたらお聞かせ下さい。今後ともスタッフ一同頑張りますのでよろしくお願い致します。



日本医療機能評価機構認定療養病院

医療法人社団 良俊会 [診療時間] 午前9時~12時
午後1時~4時

ふくの若葉病院 [休診日] 土・日・祝日

南砺市苗島367番地 TEL 23-1011 FAX 23-1020

ホームページ <http://www1.tst.ne.jp/wakaba/>

メール wakaba@p1.tst.ne.jp

